

令和4年度 事業報告

1 総括

〈組織運営・内部管理〉

- 法人全体として、「質の高いサービスの提供」「人材育成と働きがいのある職場づくり」「地域に貢献する施設づくり」「経営の基盤強化・健全化」を目標に掲げ、経営に取り組んだ。
- 令和元年9月に策定した「愛媛県社会福祉事業団中期経営計画」に基づき、法人全体が連携して重度障がい者支援体制の構築、優秀な人材の確保等に取り組むことにより、計画の確実な執行に努めた。
- 社会福祉充実計画に基づき、以下の取組みを実施した。
 - ・ 職員処遇の改善
 - ・ 障がい者スポーツ支援事業の実施
 - ・ 障がい者芸術文化支援活動の実施
 - ・ 視覚障がい生活訓練等指導者養成事業の実施
- 管理職手当の改善、特定職職員の給料表改定（ベースアップ）及び非正規職員等の給与・賃金の改善を行い、職員の処遇改善を図るとともに、職員の定着及びモチベーションの向上に取り組んだ。
- 全国社会福祉協議会が開発した「福祉職員キャリアパス対応生涯研修」をベースとした階層別研修や施設長・管理職セミナーなどを実施し、職員の資質向上に取り組んだ。
- 県と協会けんぽが共同で実施する健康づくり推進宣言事業に、令和3年度に引き続き参加し、「健康づくり優良事業所」として認定を受けたほか、新たに県が募集したスポーツ実施に積極的に取り組む「えひめスポーツ推進企業」に登録するなど、職員の健康増進やスポーツ活動の助成等に努めた。
- 県の委託を受け「愛媛県障がい者虐待防止・権利擁護セミナー」、「障がい者相談支援専門コース別研修」を開催し、県内の障がい福祉人材のスキルアップ、専門性向上を支援した。

〈施設運営・事業部門〉

- 各施設・事業所の運営に当たっては、新型コロナウイルス感染拡大に伴う事業の一部休止・縮小や原油価格・物価高騰の影響があったものの、国、県及び市の補助事業等を有効に活用し、収入の確保及び効率的な事業執行に努め、法人全体として健全かつ安定した経営を維持した。
- 直営施設においては、地域や関係機関との連携の下、利用者一人ひとりの障がい特性及びニーズに即した生活支援や訓練など、質の高いサービスの提供に努めるとともに、就労・自立に向けたきめ細かな相談・支援に取り組んだ。

なお、しげのぶ清愛園など直営3施設で実施している就労継続支援B型事業については、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和2年度以降受注が減少し、利用者の工賃低下が課題になっているが、新商品開発や新規作業の受託、障がい者アーティストのタオル販売、野菜の販売増加のほか、事業団設立50周年記念事業における記念品等の製作などにより、前年度に比べ約10%増加した。
- 指定管理施設においては、公の施設の設置目的を踏まえ、安心・安全・快適な施設管理に努めるとともに、地域に親しまれる施設を目指し、多様化するニーズに柔軟に対応するなどサービス向上に取り組んだ。

また、県の予算措置により、障がい者更生センターの危険物地下タンク修繕工事、視聴覚福祉センターの衛生用加圧吸水ポンプ修繕工事、身体障がい者福祉センターの外壁タイル補修工事など、施設・設備の改修を実施した。

- 公益事業においては、就職や職場定着が困難な障がい者に対するきめ細やかな支援や就労促進に努めたほか、県内のパラアスリートの活動支援や4年ぶりに全国障害者スポーツ大会に本県選手団を派遣するなど、パラスポーツを推進するとともに、芸術文化活動を行う障がい者の相談支援や支援人材の育成、作品発表の機会創出などに取り組んだ。
- 県から委託を受け、新たに「障がい者ICTサポートセンター」を開設し、障がい者のICT機器利用機会の拡大や活用スキルの向上を図ることにより、自立と社会参加を支援した。
- 事業団設立50周年を記念して、式典やパネルディスカッションを開催したほか、新たにPR動画やロゴマーク、職員用ピンバッジ等を制作し、事業団の魅力やビジョンを共有・発信するとともに、組織としての一体感の醸成を図った。また、関連事業として、3年ぶりに「ほほえみフェスタ」を開催したほか、各施設においても様々なイベント・行事を実施し、利用者はもとより、地域や関係機関の方々との交流を図ることができた。

〈特記事項〉

新型コロナウイルス感染症の影響について、令和4年度は過去2年度とは異なり、オミクロン株の流行に伴う全国的な感染者急拡大に伴い、法人内各施設の利用者や職員・家族にも感染者が発生し、厳しい施設運営を強いられた場面もあったが、令和2年度に策定した「新型コロナウイルス感染症対応事業継続計画(BCP)」に基づき、適切な感染防止対策を実施するとともに、集団感染発生時においては、保健所など行政の指導・助言を仰ぐとともに、職員の献身的な介護・支援と法人内他施設職員の相互応援などにより、短期間で収束させることができ、感染されたすべての方が重症化することなく無事に回復された。

2 法人運営

(1) 理事会の開催

第1回(令和4年6月3日)

- 令和3年度事業報告並びに収支決算について
- 令和4年度収支補正予算について
- 社会福祉充実計画の変更について
- 定時評議員会の招集について

(報告事項)

- ・ 理事長及び常務理事の職務執行状況について

第2回(令和4年12月19日)

- 社会福祉法人愛媛県社会福祉事業団総合職職員給与等支給規程の一部改正について
- 社会福祉法人愛媛県社会福祉事業団特定職職員給与等支給規程の一部改正について
- 令和4年度収支補正予算について

(報告事項)

- ・ 子ども療育センターの増築にかかるしげのぶ清愛園敷地の無償貸与について
- ・ 理事長及び常務理事の職務執行状況について

第3回（令和5年3月22日）

- 令和4年度収支補正予算について
- 令和5年度事業計画並びに当初予算について
- 社会福祉法人愛媛県社会福祉事業団定款の一部変更について
- 社会福祉法人愛媛県社会福祉事業団定款施行細則の一部改正について
- 社会福祉法人愛媛県社会福祉事業団就業規則の一部改正について
- 社会福祉法人愛媛県社会福祉事業団総合職職員給与等支給規程の一部改正について
- 社会福祉法人愛媛県社会福祉事業団特定職職員給与等支給規程の一部改正について
- 社会福祉法人愛媛県社会福祉事業団役員報酬等支給規程の一部改正について
- 役員等賠償責任保険の契約内容について
- しげのぶ清愛園一部敷地の愛媛県への無償貸与に係る基本財産の処分について
- しげのぶ清愛園一部敷地の愛媛県への無償貸与に係る土地使用貸借契約の締結について
- 施設長の選任について
- 評議員会の招集について
- 評議員選任等委員会の招集について
- 評議員候補者の推薦について

第4回（令和5年3月30日）※決議の省略により実施

- 令和4年度収支補正予算について

(2) 評議員会の開催

第1回（令和4年6月22日）※決議の省略により実施

- 令和3年度収支決算について
 - 社会福祉充実計画の変更について
- （報告事項）
- ・ 令和3年度事業報告について
 - ・ 令和4年度収支補正予算について

第2回（令和5年3月30日）

- 社会福祉法人愛媛県社会福祉事業団定款の一部変更について
 - しげのぶ清愛園一部敷地の愛媛県への無償貸与に係る基本財産の処分について
 - 社会福祉法人愛媛県社会福祉事業団役員報酬等支給規程の一部改正について
 - 評議員会の招集について
- （報告事項）
- ・ しげのぶ清愛園一部敷地の愛媛県への無償貸与に係る土地使用貸借契約の締結について
 - ・ 令和4年度収支補正予算について
 - ・ 令和5年度事業計画並びに当初予算について

(3) 監査

令和4年5月23日 監事監査

3 施設の経営

- 施設数 14 施設（直営施設 7 施設、指定管理施設等 7 施設）
- 職員数 総合職職員 136 名 特定職職員 63 名 嘱託職員 13 名（5. 3. 31 現在）
- 施設の定員等

施設区分		サービス / 定員	
直営施設	しげのぶ清流園	生活介護	55 名
		施設入所支援	40 名
		短期入所	5 名
		放課後等デイサービス	5 名
	しげのぶ清愛園	生活介護	38 名
		自立訓練	6 名
		就労移行支援	6 名
		就労継続支援（B型）	20 名
施設入所支援		40 名	
短期入所		5 名	
道後ゆう	共同生活援助	18 名	
	生活介護	35 名	
	自立訓練	15 名	
	就労移行支援	10 名	
	施設入所支援	40 名	
指定管理施設等	就労定着支援	4 名	
	ほほえみ工房ぱれっと道後	就労継続支援（B型）	40 名
	どうご清友寮	共同生活援助	37 名
	福祉工房いだい清風園	生活介護	40 名
		就労継続支援（B型）	15 名
		施設入所支援	50 名
	ほほえみ特定相談支援事業所	—	
愛媛県立愛媛母子生活支援センター	20 世帯		
愛媛県身体障がい者福祉センター	—		
愛媛県障がい者更生センター (道後友輪荘)	(宿泊) 45 名		
愛媛県視聴覚福祉センター	—		
えひめ障がい者就業・生活支援センター	—		
愛媛県障がい者スポーツ協会事務局	—		
愛媛県障がい者アートサポートセンター	—		